

カワる、
サキへ。
Changing forward

カワる、サキへ。

Changing forward

「私たちはカワる、そのサキにむかって挑戦する」
という想いと
「社会がカワっていく、その一歩サキへ」
という意志を込めて
今後も社会的価値を提供していきます。

Contents

- 3. メッセージ
- 4. ミッションステートメント
- 5. グループビジョン2030
- 7. 安全安心リモート社会
- 8. 近未来モビリティ
- 9. エネルギー・環境ソリューション
- 11. 事業成長イメージ
- 13. 事業部門
- 16. 社会貢献活動
- 18. 社史・沿革
- 19. 会社概要
- 21. 事業拠点

つぎの社会
信頼のこた
Trustworthy Solutions for the e

社会のニーズを的確に捉え、 スピーディに適応する企業グループへ

1896年の創立以来、
130年にわたり、陸・海・空の幅広い分野で事業を展開してきた川崎重工グループ。
それぞれの時代において、最先端の技術をベースに、
常に世界の人々の多様な要望にこたえる製品・サービスを社会の変化に合わせて提供してきました。
こうした取り組みを通して、お客様と社会の可能性を切り拓く力になることが、当社グループの掲げるミッション
「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する"Global Kawasaki"」の実現につながるものと確信しています。

今後も、新たな時代の社会課題を的確に捉え、お客様の「期待と信頼」にこたえて課題を解決していくためには、
世の中の変化にタイムリーに対応し、新たな付加価値を届けることが必要と考えています。
そこで、2030年に目指すべき企業像として、
「つぎの社会へ、信頼のこたえを～Trustworthy Solutions for the Future～」
というビジョンを制定しました。

常にお客様とともに迅速にソリューションを考え、行動していくことで、
自分たちが社会の「カワる、サキへ。」を体現するとともに、
これまで以上にグローバル展開を進めて事業の成長を図ることで、
コンプライアンスの遵守や企業の社会的責任（CSR）を果たしながら
世界中の人々から信頼される企業を目指してまいります。
引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

橋本 康彦



世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”

川崎重工グループは、広汎な領域における
高度な総合技術力によって、地球環境との調和を図りながら、
豊かで美しい未来社会の形成に向けて、新たな価値を創造します。

／ カワサキバリュー（重きを置く価値：戦略・施策立案の立脚点）

- 多様なお客様の要望にこたえる
- テクノロジーの頂点を目指す
- 独自性・革新性を追求する

／ グループ経営原則（グループ経営の指針、経営活動における原則）

1. 高機能・高品質で安全な製品・サービスを世界の人々に提供する。
2. 社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
3. 労使の信頼を企業文化とし、グローバルに"人財"を育成・活用する。
4. "選択と集中"、"質主量従"、"リスクマネジメント"を指針とし企業価値向上を図る。

／ グループ行動指針（日々の業務遂行においてとるべき行動の指針）

1. グローバルで長期的な視点に立つ。
2. 困難な課題に挑戦する。
3. 目標の実現に向け、最善を尽くす。
4. 社会と人々から信頼される企業人となる。
5. 自主独立のプロフェッショナルとなる。
6. 誇りと喜びを共有する、カワサキのよきメンバーとなる。

ミッション

バリュー

経営原則

行動指針

つぎの社会へ、信頼のこたえを Trustworthy Solutions for the Future

私たちが胸に抱く「カワる、サキへ。」という決意を行動につなげるため、

2030年度の達成を目指すグループビジョンを掲げています。

「つぎの社会へ、信頼のこたえを」。

それは、刻々と変わる社会に、革新的なソリューションを
スピーディに提供すること。

世の中を大きく変える3つのフィールドに注力しながら、

社会とともに、私たちも成長し続け、

希望ある未来をつくっていきます。



ビジョン達成に向けた3つのキーワード

Frontier

挑戦のDNAでフロンティアを切り拓く

世界初・日本初を生み出してきた歴史は、挑戦者のDNAとして、
今も私たちに刻まれています。これからも新たな時代の社会課題
というフロンティアに、独自の視点でこたえていきます。

New Values

世界が直面する課題に革新のこたえを

今まで培ってきた技術や知見を集めて、世界が直面するさまざまな
課題に対して革新的なこたえをつくり出します。社会の変化をキャッチ
して、新しく高い価値をスピーディにお届けします。

Cross Over

枠を超え、成長し続ける創造的な挑戦者に

組織や製品の枠を超えて動く、オープンで自由闊達・創造的なチーム
であり続けます。自らの可能性を広げるべく新たな領域へ挑戦し、
学んでいく姿勢を大切にしながら、組織・人ともに成長していきます。

社会を変える、3つの注力フィールド

新たな時代の社会課題を見据え、さまざまなソリューションをタイムリーに提供するために、以下の3つのフィールドに注力して
います。地球環境問題や高齢化社会・労働力不足への対応などに加え、昨今では防衛・防災・資源・食料の観点から国家の安全保障
に対する関心が高まっており、これらの重要課題に対しても当社のソリューションを最大限に活かす取り組みを加速しています。



©メディカロイド

1.安全安心リモート社会



2.近未来モビリティ(人・モノの移動を変革)



©HySTRA

3.エネルギー・環境ソリューション

すべての人が 安全安心に社会とつながるために

遠隔操作・情報技術、ロボティクス技術を使って、
医療、介護、ものづくり、産業インフラ、
防衛、防災などの分野でリモート化を進めています。
リモート社会の実現により、すべての人々が社会参加できる
新しい働き方・暮らし方を提案し、安全かつ
安心して暮らせる社会づくりに取り組んでいます。

手術支援ロボット「hinotori™」
(メディカロイド)



ソーシャルロボット、位置情報サービス
mapxus Driven by Kawasaki™による
ヘルスケア事業(開発中)

リモートロボティクス



位置情報サービス
mapxus Driven
by Kawasaki™



©メディカロイド

出典:防衛省 陸上自衛隊公式X

Topic / NVIDIA等との協業により フィジカルAIの社会実装を加速

2026年5月、米国・シリコンバレーに「Kawasaki Physical AI Center San Jose」を開設。幅広い事業領域の製造現場で長年培った多様なデータとノウハウを強みに、AI開発先進企業※1との共創を通じて、ロボティクスとフィジカルAIの融合を実用化し、現場課題の解決を目指します。医療・介護を起点に、半導体・自動車、ニューモビリティなど、保有製品※2との融合も図りながら、幅広い分野への適用を進めます。

※1 NVIDIA Corporation, Microsoft Corporation, Analog Devices, Inc., 富士通株式会社 ほか

※2 自律走行型サービスロボット「Nyokkey」、屋内配送用サービスロボット「FORRO」、手術支援ロボット「hinotori™」(株式会社メディカロイドの商標)、RMV「CORLEO」など



ニュースリリース



PR Movie



新しい輸送システムで 人とモノの移動を変革

川崎重工が考える「近未来モビリティ」とは、
移動手段と最先端技術をかけ合わせ、新しい価値を生み出すこと。
物流業の仕事量増加や労働環境の悪化を解消するための
取り組みです。物流の無人化を進めるとともに、
将来的には、航空技術なども採り入れて、シームレスな
移動が可能な社会の実現を目指していきます。

無人ヘリコプター K-RACER



屋内配送用サービスロボット
FORRO™



Topic / 新カテゴリーのRMV「CORLEO」の 製品化に向けた開発を開始

2025年の大阪・関西万博で披露したRMV「CORLEO (コルレオ)」。2030年開催予定のサウジアラビア・リヤド万博での会場内モビリティとしての採用を目指すとともに、2035年の製品化に向けて開発を進めています。その実現に向けて、ライディングシミュレーターを活用し、「CORLEO」の乗り味などの検証を進める計画です。また、このシミュレーターはゲーム・eスポーツ分野への展開も見据えています。

※1 Robotic Multi-legged Vehicle



SAFE ADVENTURE



豊かな暮らしはそのままに 持続可能なエネルギー社会の実現へ

川崎重工グループが目指すのは、地球環境に配慮しつつ、
安定してエネルギーを確保すること。

水素エネルギーをはじめとした脱炭素化へ取り組むとともに、
さまざまな資源や用途につながる水素の可能性を活かし、
持続可能な未来を支えていきます。

水素サプライチェーン

水素の製造から利用までをつなぐ

水素社会の実現には大規模な
サプライチェーンの構築が不可欠です。
当社グループは「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」の
全ての領域を担うことができる世界で唯一の企業。
総合力を結集した取り組みは
すでに始まっています。

はこぶ

当社グループがつくった
世界初の液化水素運搬船で、
海外から大量に、そして
安価に水素を輸送します。

ためる

日本最大級・2,500m³の
液化水素貯蔵タンクで、
海外から運ばれてきた
水素を効率よく貯蔵します。

つかう

燃焼時にCO₂が出ない
水素を使って発電することで、
脱炭素社会へと近づきます。

つくる

気体である水素を、-253℃と
いう極低温で冷却して液体に。
水素の体積を1/800まで
小さくします。



©HYSTRA / NEDO助成事業



当社グループの水素サプライチェーン
**Kawasaki
Hydrogen Road**

2030
水素の起動



トランジション製品

水素とその他エネルギーを併用し、水素社会への移行を目指す

天然ガスと水素の両方に対応可能なガスタービンやガスエンジンの
導入が、今まさに求められています。足元では経済合理性から
天然ガスを活用しつつも、カーボンニュートラルの実現には水素が
不可欠です。当社では、水素社会の到来を見据え、水素でも発電
可能なトランジション製品を保有しています。



水素混焼ガスエンジン KG-18-T

事例

世界初	5MW以上の大型ガスエンジンにおける、 水素100%燃焼技術を開発。
世界初	市街地における水素燃料100%の ガスタービン発電による熱電供給。
日本初	水素30%混焼による7.5MW級大型 ガスエンジンの運用を開始。



CO₂分離回収技術

CO₂固体吸収剤を活用した「KCC (Kawasaki CO₂ Capture)」

当社グループが実現を目指すCCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)。それは、産業プラントや発電所、ごみ焼却場など
から出る排気ガス中や、大気中のCO₂を、他の気体から分離して集め、再利用するという技術です。開発プロジェクトには、独自の固体吸収剤[※]を活用した
CO₂分離回収技術をはじめ、潜水艦事業で培ってきたKawasakiのノウハウを結集しています。すでに石炭火力発電所内に試験設備を整え、実際の
燃焼排ガスからCO₂を分離・回収する試験もスタート。地方自治体との連携も始まり、さらなる実証試験を進めていきます。

※ CO₂固体吸収剤：アミンという、CO₂を吸収する特殊な薬剤をコーティングしたビーズのようなもの。吸収したCO₂を固定化・脱離したら、再利用して繰り返しCO₂を吸収できます。

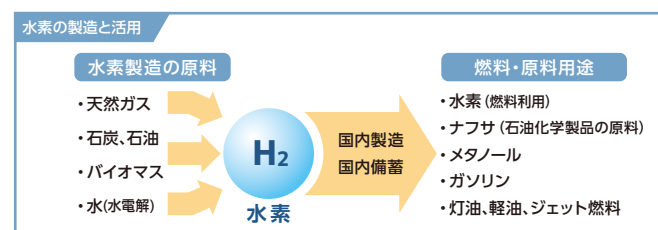


エネルギー安全保障

多様な資源から生まれ、幅広く活用される水素

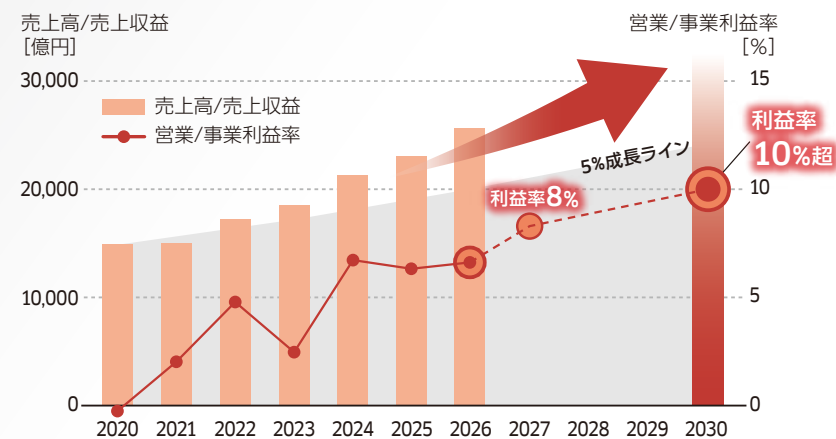
安定したエネルギー供給の確保には、特定の資源や地域に依存しない仕組みづくりが重要です。水素は、天然ガスや石炭・石油・水などさまざまな
資源から製造でき、供給源の分散化に役立ちます。また、水素を活用して、ガソリンやジェット燃料への転換に加え、ナフサやメタノールなどの
化学製品原料としても利用でき、その用途は多岐にわたります。当社グループは、これらの分野で水素の実用技術と実績を有しています。^{※1} さらに、
CO₂分離回収技術と組み合わせることで、CO₂排出を抑制しつつ既存プロセスを活用した燃料製造も可能です。^{※2}
水素をエネルギーと産業の双方を支える基盤と捉え、持続可能な社会の実現に貢献します。

※1: トルクメニスタン「Gas To Gasoline (GTG) プラント」(右下写真) 天然ガスからメタノールを経てガソリンを製造する一貫プロセスを統合した、世界唯一の商業プラント。
※2: 水の電気分解で得た水素およびCO₂回収による炭素を活用することで、ガソリン合成が可能。



成長目標

外部環境の変化に適切に対応し、2027年に事業利益率8%、2030年までに10%超を実現します。



成長を支える仕組み

WX(ワークトランスフォーメーション)推進

業務の選択と集中、業務プロセスの整流化、AI・デジタルの積極的活用などグループ全体で取り組み、人は付加価値の高い仕事に集中し、“やりがい”“成長”を実感できる働き方も実現。



人財戦略

川崎重工グループの人財戦略4つのテーマをご紹介します。

経営リーダー・コア人財の
戦略的輩出

サクセッションプランを軸に、
事業変革と探索を担う経営リーダー・
中核人財を計画的に育成・輩出



組織マネジメント強化

職務・役割に基づく適所適材と
管理職の選抜・育成を徹底し、
組織として成果を出す体制を構築

事業成長と
キャリア実現の両立

事業戦略と連動した人財育成と
キャリア支援により、事業成長と
社員の挑戦・成長を両立

能力を最大発揮できる
環境構築

Well-beingとDE&Iの推進を通じ、
安心して挑戦でき、多様な人財が
活躍できる基盤を整備



ガバナンス改革

取締役会の独立性

過半数が
独立社外取締役



取締役会の多様性

幅広い見識・経験、人種・国籍など
より多角的な経営判断ができる体制



時期	取締役人数	社外取締役比率	女性取締役比率	外国籍取締役比率
2020年	13人(社内7人、社外6人)	46%	15%	7%
2026年	13人(社内6人、社外7人)	53%	30%	7%

CO-CREATION PARK
KAWARUBA

KAWARUBAサイト



挑 戦 心 が 集 う。未 来 が 変 わ る。

KAWARUBAとは、川崎重工が羽田の地に開設する、新たな
ソーシャルイノベーション共創拠点。

2024年のオープン以来、国内外から9,000人以上・2,000団体
以上*が来場。ソーシャルロボットや水素・カーボンニュートラル
などの領域において、共創や商用化に向けた多様な議論・検討が
進められています。

*2026年4月時点

- 01 人と人、人と技術が集う「場」において、共感を
起点に、価値創造するエコシステムを形成
- 02 多様な「実証フィールド」を携え、出口起点で
ソリューション開発を推進
- 03 未来社会へのエンゲージメントを掲げ、足元
から着実に社会実装・コミットメントを重ねる



さまざまな事業で、新たな時代の社会課題に挑んでいます

航空宇宙システムカンパニー

Aerospace Systems Company



最先端のテクノロジーで、
航空機事業の未来をひらく。

日本を代表する航空機メーカーとして、防衛省向けから民間用まで、数々の機体の開発・製造をおこなっています。また、ヘリコプターや宇宙機器、誘導機器も手がけています。さらに、機体だけでなく、旅客機用やヘリコプター用のエンジンも開発。国内外のさまざまな研究開発プロジェクトにも参加し、技術力の向上を目指しています。



ボーイング777-9 (提供:Boeing)



P-1 固定翼哨戒機*1

BK117D-3型ヘリコプター

CH-47J/JA型ヘリコプター*2

Trent XWBターボファンエンジン(A350XWB用)

*1 出典:防衛省海上自衛隊ホームページ(<https://www.mod.go.jp/msdf/equipment/aircraft/patrol/p-1/>)
*2 出典:防衛省陸上自衛隊ホームページ(<https://www.mod.go.jp/gsdf/equipment/air/index.html>)

川崎車両株式会社

Kawasaki Railcar Manufacturing Co., Ltd.



世界最高水準の技術で、
陸の交通網を支える。

1906年に鉄道車両づくりを開始して以来、その発展を日本のトップメーカーとして支えてきました。今も、国内と北米の生産拠点から電車・貨車・機関車など、さまざまな車両を世界各地へ送り出しています。これからも世界最高水準の技術で、お客様の声にこたえ、社会に貢献していきます。



JR東日本 E5系電車



神戸新交通 3000形電車

ニューヨーク市交通局 R211電車/アメリカ

ダッカ6号線向け都市高速鉄道車両/バングラデシュ

エネルギーソリューション&マリンカンパニー

Energy Solution & Marine Engineering Company



地上から海底まで、幅広いフィールドで、革新的なソリューションを提供。

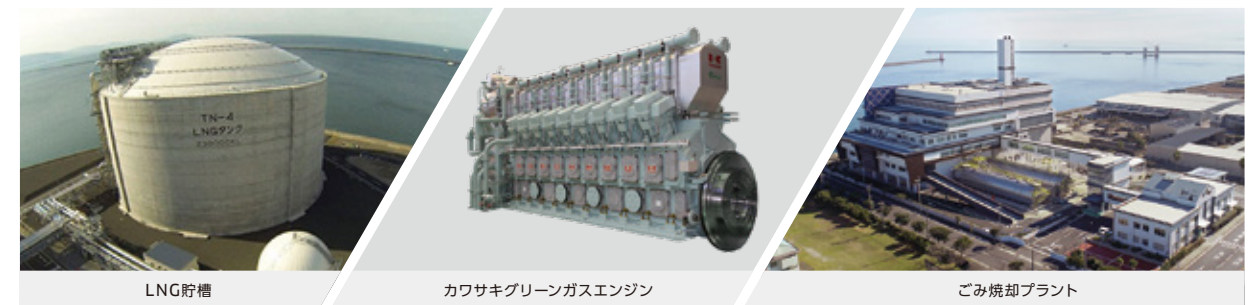
“水素・CN[®]”、“エネルギー”、“プラント”、“船用推進”、“船舶海洋”の5分野において多様なニーズにこたえています。これまでに培ったコアコンポーネントと高いエンジニアリング力を結集し、水素社会・カーボンニュートラルの実現に向けたソリューションを提供していきます。

※CN=カーボンニュートラル



86,700m³型LPG/アンモニア運搬船

回転式スラスト「レックスベラ」



LNG貯槽

カワサキグリーンガスエンジン

ごみ焼却プラント

Topic / 液化水素サプライチェーンの商用化実証

当社は、日本水素エネルギー株式会社(以下、JSE)が進める「液化水素サプライチェーンの商用化実証」*において、2025年5月に川崎市扇島にて、世界初の商用規模となる液化水素基地「川崎LH₂ターミナル」の建設に着手。また、同年12月には、世界最大となる40,000m³型液化水素運搬船について、当社とJSEとの間で造船契約を締結。2030年度までに国際サプライチェーンとして求められる性能や安全性などの商用化要件を確認し、将来の液化水素サプライチェーン本格運用に向けた取り組みを推進していきます。

※新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)グリーンイノベーション基金事業 大規模水素サプライチェーンの構築 液化水素サプライチェーンの商用化実証

川崎LH₂ターミナル完成予想図

40,000m³型液化水素運搬船(イメージ)

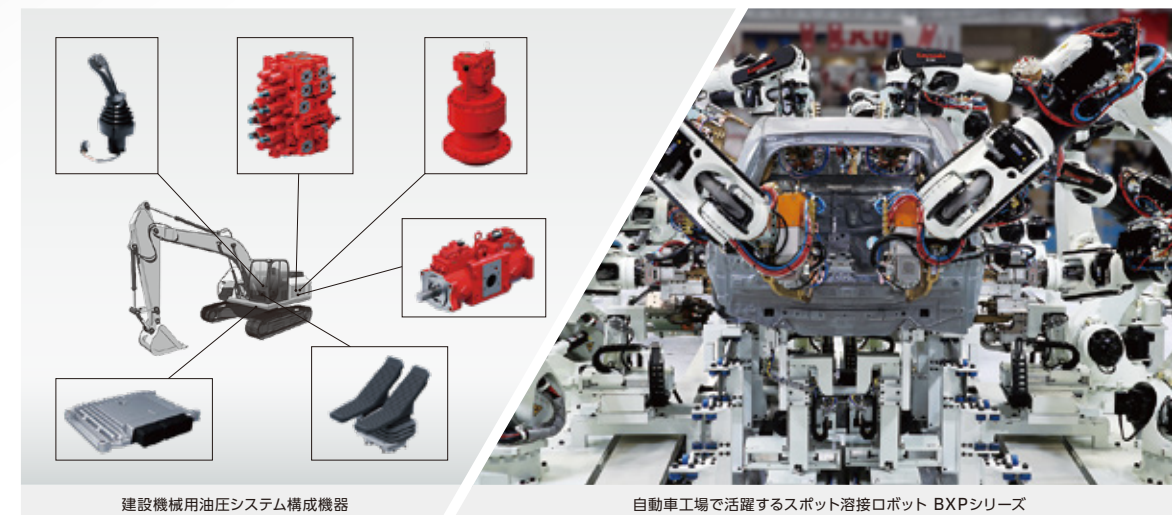
精密機械・ロボットカンパニー

Precision Machinery & Robot Company



油圧技術とロボットで、世界の産業の進化を支える。

建設機械や産業機械、船などの駆動や制御に使われる油圧機器・油圧装置をつくり、世界へお届けしています。さらに、産業用ロボットメーカーのパイオニアとして、自動車や電機・電子をはじめとするさまざまな業界に向けて、多種多様なロボットを供給。国内外の産業の進化を支えています。



カワサキモータース株式会社

Kawasaki Motors, Ltd.

カワサキを愛するお客様に
Good Timesを提供。

世界中で愛され続けるモーターサイクルを中心に、さまざまな製品を提供しています。これからも、高い技術力で、「Fun to Ride (操る楽しさ)」を追求。モーターサイクルのその先へと走り続けていきます。



グループミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」に基づき、グループの強みを活かしたさまざまな社会貢献活動をおこなっています。



災害支援パッケージ

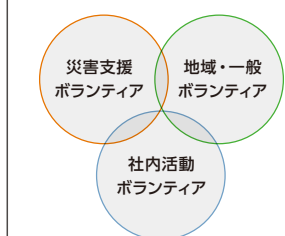
社長を統括責任者とする災害支援タスクフォースを常設し、平時から関係各所と防災協定の締結・見直しをおこなっています。災害が発生した際には、国や自治体と連携し、災害のフェーズに応じた支援を速やかに提供します。

災害フェーズ	24時間 災害発生	72時間 緊急対策期	1週間 応急対策期①	1か月 応急対策期②
災害支援パッケージ		義援金拠出 Z-Leg™ K-RACER モーターサイクル	BCP用品の提供 非常用発電運転 継続支援 ほか	災害支援ボランティア 寮・社宅 粉砕機の提供 ほか

従業員の社会貢献活動支援

従業員の社会貢献活動を支援するため、2024年4月に災害ボランティア参加時に特別休暇を取得できる制度を導入しました。

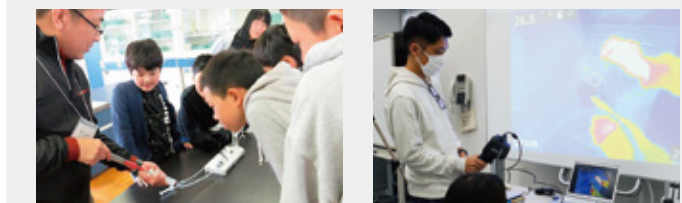
また、災害を含む各種ボランティア活動への参加を支援する社内組織「カワサキボランティアネットワーク」を設立し、各地自治体や社会福祉協議会などと連携した活動を推進しています。

カワサキ
ボランティアネットワーク

次世代育成支援

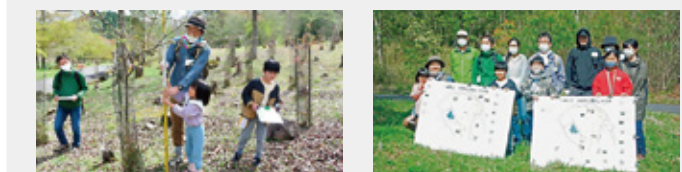
技術の開発・普及を担う企業として、当社グループの従業員が科学技術やものづくりに関する教育プログラムを開発しています。

継続的な活動を通じて、子どもたちの関心を高めるとともに、従業員のコミュニケーション能力やモチベーション向上にもつなげています。



地球環境への貢献

自然と共生する社会の実現を目指し、兵庫県・東京都の2か所で当社従業員がボランティアで森づくり活動をおこなっています。従業員の環境意識を高め、当社の環境配慮型企業としての地位を確立させていきます。



スポーツ支援・文化振興

スポーツ・芸術文化の支援や地域交流を通じて、感動や喜びを共有しながら、地域社会の発展に貢献しています。これらの活動を通じて、心身の健やかさが実感できるウェルビーイングな社会の形成に寄与するとともに、当社の企業価値向上を目指していきます。

スポーツ

J1サッカーリーグ「ヴィッセル神戸」、女子プロサッカーWEリーグ「INAC神戸レオネッサ」、J3サッカーリーグ「FC岐阜」、ホッケー女子日本リーグ「GIFU ASAHI BLUE BEES」、ならびにプロゴルファー古江彩佳選手、鳥居さくら選手の公式スポンサーを務めています。また、プロ野球球団「阪神タイガース」の冠試合に協賛しています。

各クラブが展開するアカデミーやスクールを通じ、青少年の健全な育成、競技の普及促進など、スポーツを通して社会貢献、地域貢献に寄与していきます。



©ヴィッセル神戸



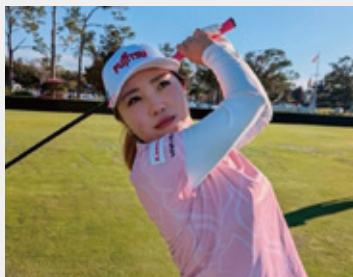
©INAC神戸レオネッサ



©FC Gifu



©GIFU ASAHI BLUE BEES



プロゴルファー 古江彩佳



プロゴルファー 鳥居さくら

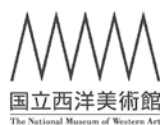


©阪神タイガース

芸術

国立西洋美術館とオフィシャルパートナー契約を締結しています。川崎造船所（現・川崎重工）の初代社長・松方幸次郎は、かつて「日本人に本物の西洋文化や美術を見せたい」という志を持って、ヨーロッパ各地で美術品を収集していました。その数1万点にも及ぶ「松方コレクション」です。

コレクションは、フランス政府に管理されていましたが、その後日本へ寄贈返還。保存・公開を目的に、1959年に設立されたのが、国立西洋美術館です。パートナーシップを通じて、多くの人々に美術に触れる機会をご提供することで、「アートの力を活かした豊かな社会づくり」を目指していきます。



©国立西洋美術館

2026
創立130周年Kawasaki History
サイト

2024

世界初^{*1}のストロングハイブリッドモーターサイクル
「Ninja 7 Hybrid」「Z7 Hybrid」を発売

Ninja 7 Hybrid



2022

世界初、液化水素運搬船（すいそ ふろんていあ）で
水素を海上輸送・荷役する実証試験の完遂



©HySTRA

2020

（株）メディカロイドが手術支援ロボット
「hinotori™ サージカルロボットシステム」の製造販売承認取得を発表

国産初のガスタービン発電設備
「カワサキPU200」

ガスタービン発電設備PU200を開発

2018

神戸市ポートアイランドにて、世界初、
市街地での水素コージェネレーションシステム実証試験開始

1991

英仏海峡海底鉄道トンネル
掘削機、掘削に成功



1981

わが国初の
LNG運搬船を引渡し

LNG運搬船
「GOLAR SPIRIT」

1976

ガスタービン発電設備PU200を開発

1973

ジェットスキーの販売を開始



1972

モーターサイクル
「900 Super4 (Z1)」を発売

900 Super4 (Z1)



1969

国産初の産業用ロボット「川崎ユニメート2000」誕生

国産初の産業用ロボット
「川崎ユニメート2000」

1964

0系新幹線電車を国鉄に納入



1954

ヘリコプターの製造を開始
（ベル47D型）



1922

当社初の航空機（乙式一型偵察機）完成



1911

国産化第1号
蒸気機関車完成



伊豫丸（川崎造船所第一番船）
進水

1906

わが国初の潜水艇を完成

乾ドックで試験中の
ホーランド型潜水艇
「第6」「第7」



1896

株式会社川崎造船所（神戸）を創立。松方幸次郎が初代社長に就任

1881

川崎正蔵が兵庫県東出町に川崎兵庫造船所を開設



初代社長 松方幸次郎

1878

川崎正蔵が川崎築地造船所（東京）を開設（創業）

創業者 川崎正蔵



※1：主要メーカーの量産モーターサイクルとして世界初（スクーターを除く）
（2023年10月6日時点、カワサキモーターズ調べ）

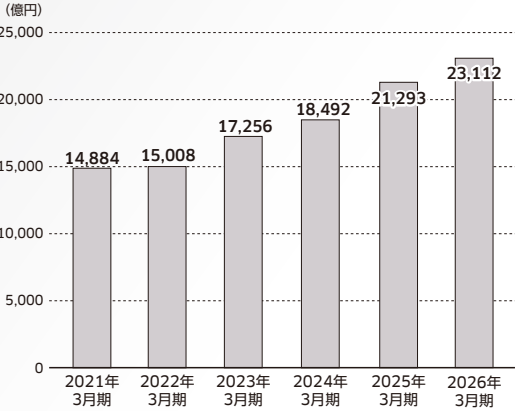
会社概要

Company Overview

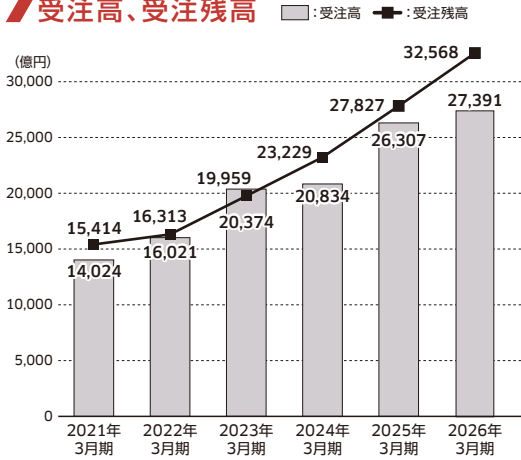
会社概要

商号	川崎重工業株式会社	創業	明治11年(1878年)4月
(英文)	Kawasaki Heavy Industries, Ltd.	創立	明治29年(1896年)10月15日
本社所在地		代表者	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
本店	神戸市中央区東川崎町3丁目1番1号	資本金	104,484百万円(2026年3月31日現在)
東京本社	東京都港区海岸1丁目14番5号	従業員数	41,652人(連結ベース/2026年3月31日現在)
神戸本社	神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号	連結子会社数	112社(2026年3月31日現在)
	(神戸クリスタルタワー)	主要生産拠点	国内16か所、海外27か所(連結ベース/2026年4月1日現在)

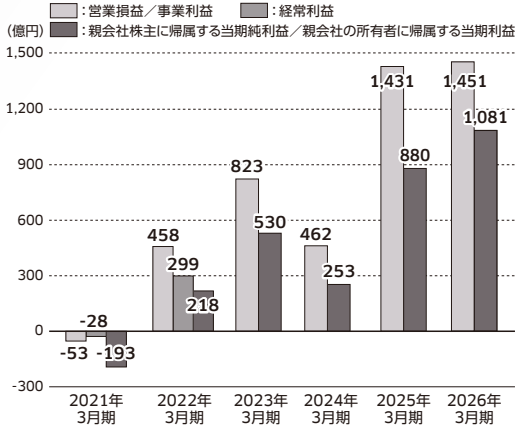
売上高／売上収益



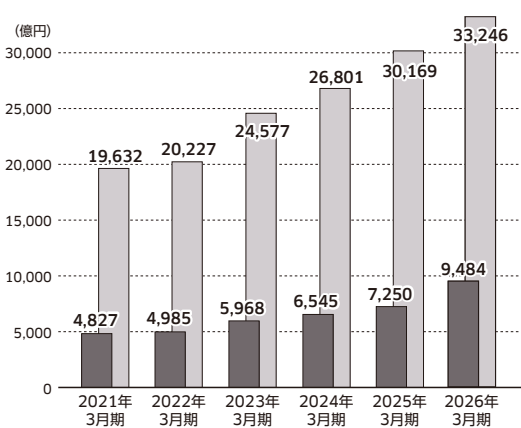
受注高、受注残高



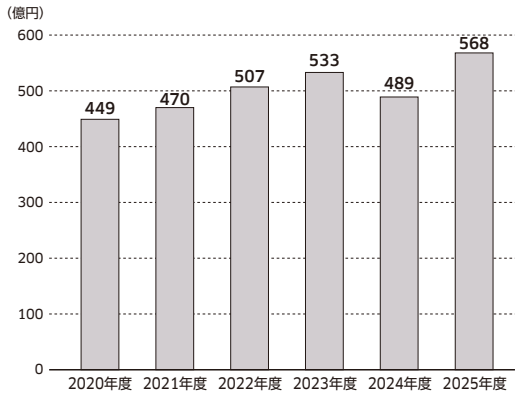
利益



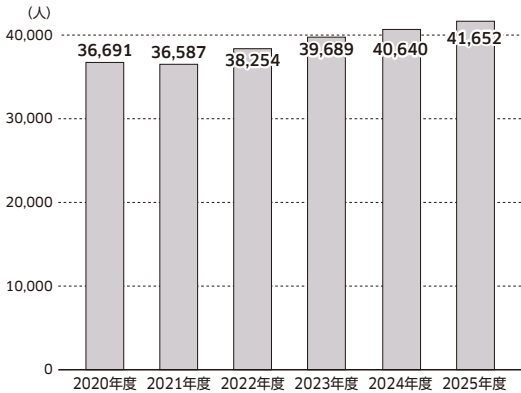
資産、資本



研究開発費



期末従業員数



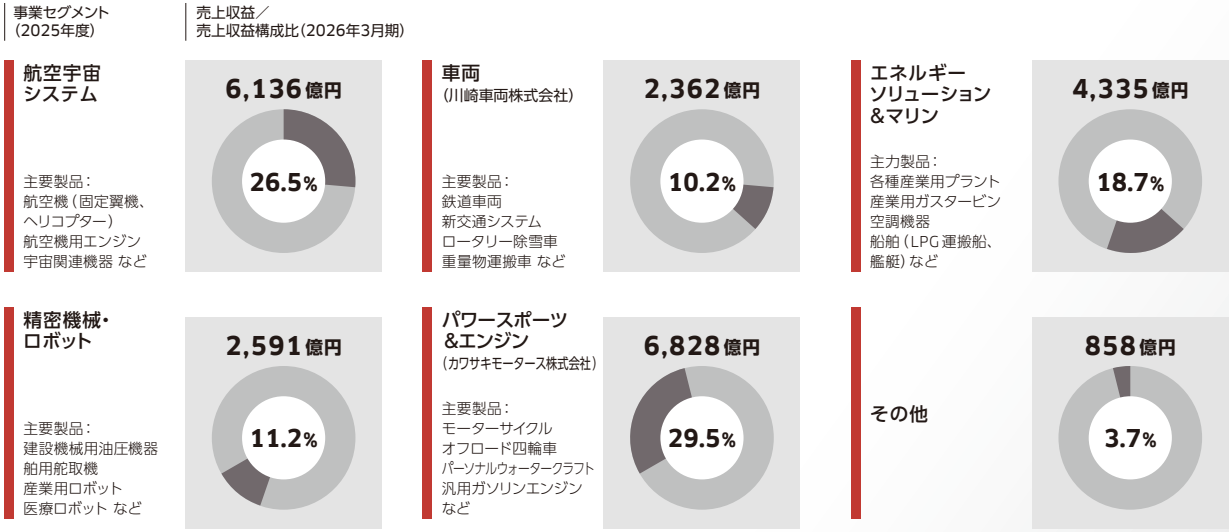
※2023年3月期よりIFRS適用

組織・事業体制図

2026年4月1日現在



事業セグメント別売上収益



その他の情報

役員一覧▷



主要関係会社▷

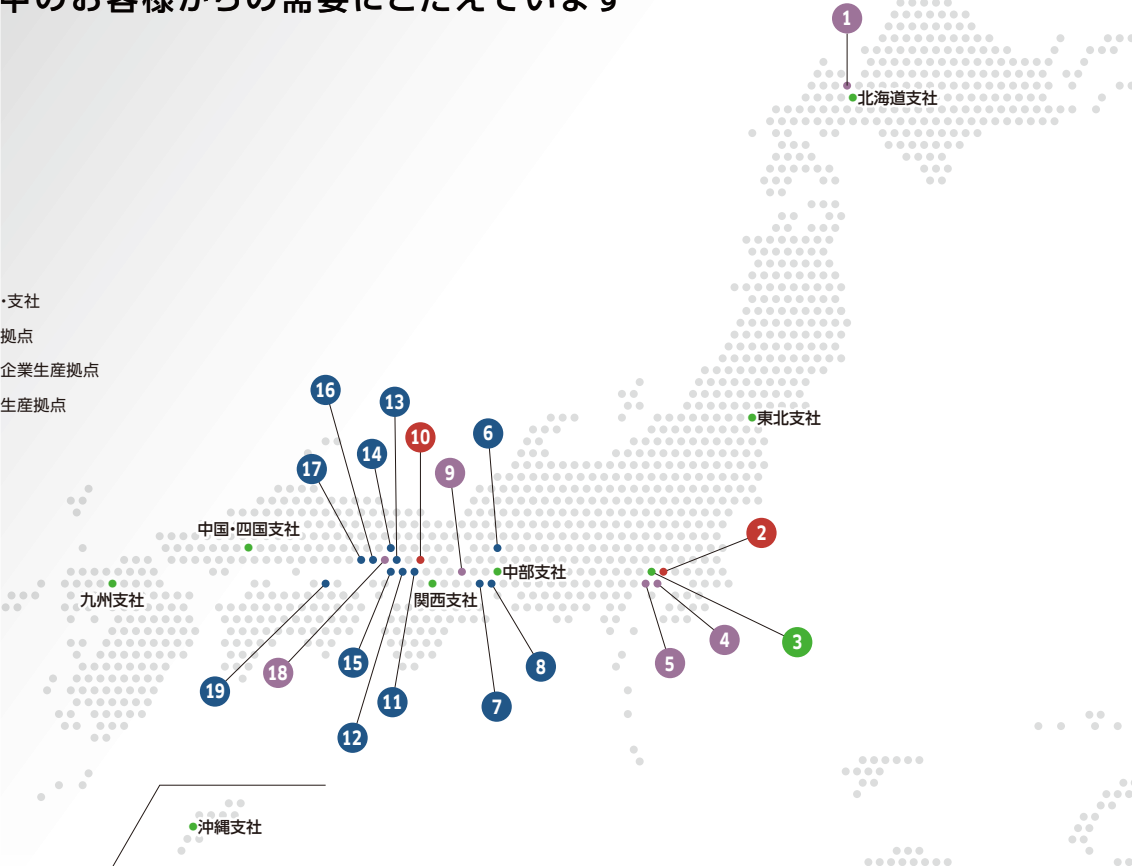


充実したネットワークで 世界中のお客様からの需要にこたえています

事業拠点の
詳しい情報



- :本社・支社
- :生産拠点
- :関連企業生産拠点
- :海外生産拠点



- 26:川崎(重慶)機器人工程有限公司(中国・重慶)
- 27:武漢川崎船用機械有限公司(中国・武漢)
- 28:川崎精密機械(蘇州)有限公司(中国・蘇州)
- 29:艾崎精密機械(蘇州)有限公司(中国・蘇州)
- 30:安徽海螺川崎節能設備製造有限公司(中国・蕪湖)
- 31:安徽海螺川崎工程有限公司(中国・蕪湖)
- 32:安徽海螺川崎裝備製造有限公司(中国・蕪湖)
- 33:川崎春暉精密機械(浙江)有限公司(中国・浙江)
- 34:常州川崎發動機有限公司(中国・常州)
- 35:南通中遠海運川崎船舶工程有限公司(中国・南通)
- 36:川崎机器人(昆山)有限公司(中国・昆山)
- 37:大連中遠海運川崎船舶工程有限公司(中国・大連)
- 38:Flutek, Ltd. (韓国・チャンオン、ウーリョン、ハマン)

- 39:Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Lincoln Plant (アメリカ・ネブラスカ州リンカーン)
- 40:Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Maryville Plant (アメリカ・ミズーリ州メアリービル)
- 41:Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Boonville Plant (アメリカ・ミズーリ州ブーンビル)
- 42:Kawasaki Precision Machinery(USA), Inc. (アメリカ・ミシガン州グランド・ラビッツ)
- 43:Kawasaki Rail Car Lincoln, Inc. (アメリカ・ネブラスカ州リンカーン)
- 44:Kawasaki Rail Car, Inc. (アメリカ・ニューヨーク州ヨンカース)
- 45:Kawasaki Motores de México S.A. de C.V. (メキシコ・ヌエボレオン州)
- 46:Kawasaki Motores do Brasil Ltda. (ブラジル・マナウス)

- 1:(株)NICHIGO 曬工場・稲穂工場(札幌市)
- 2:東京本社
川崎車両(株)東京本社
カワサキモータース(株)東京事務所
- 3:CO-CREATION PARK KAWARUBA(東京都大田区)
- 4:日本飛行機(株)横浜工場(横浜市)
- 5:日本飛行機(株)厚木工場(大和市)
- 6:岐阜工場(岐阜県各務原市)
- 7:名古屋第一工場(愛知県弥富市)
- 8:名古屋第二工場(愛知県海部郡飛島村)
- 9:川重冷熱工業(株)滋賀工場(滋賀県草津市)
- 10:神戸本社
- 11:神戸工場(神戸市)
- 12:川崎車両(株)神戸本社(神戸市)
- 13:西神戸工場(神戸市)
- 14:西神戸工場(神戸市)
- 15:明石工場(兵庫県明石市)
カワサキモータース(株)本社・本社工場
- 16:播磨工場(兵庫県加古郡播磨町)
川崎車両(株)播磨工場
- 17:カワサキモータース(株)加古川工場(兵庫県加古川市)
- 18:川崎油工(株)(兵庫県明石市)
- 19:坂出工場(香川県坂出市)

- 20:Kawasaki Precision Machinery(U.K.) Ltd. (イギリス・プリマス)
- 21:India Kawasaki Motors Pvt. Ltd. (インド・マハラシュトラ)
- 22:Wipro Kawasaki Precision Machinery Pvt. Ltd. (インド・バンガロール)

- 23:Kawasaki Motors Enterprise (Thailand) Co., Ltd. (タイ・ラヨン)
- 24:PT. Kawasaki Motor Indonesia (インドネシア・プカシ)
- 25:Kawasaki Motors (Phils.) Corporation (フィリピン・マニラ)

- 39:Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Lincoln Plant (アメリカ・ネブラスカ州リンカーン)
- 40:Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Maryville Plant (アメリカ・ミズーリ州メアリービル)
- 41:Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Boonville Plant (アメリカ・ミズーリ州ブーンビル)
- 42:Kawasaki Precision Machinery(USA), Inc. (アメリカ・ミシガン州グランド・ラビッツ)
- 43:Kawasaki Rail Car Lincoln, Inc. (アメリカ・ネブラスカ州リンカーン)
- 44:Kawasaki Rail Car, Inc. (アメリカ・ニューヨーク州ヨンカース)
- 45:Kawasaki Motores de México S.A. de C.V. (メキシコ・ヌエボレオン州)
- 46:Kawasaki Motores do Brasil Ltda. (ブラジル・マナウス)

Information

ANSWERS

社会課題と向き合う
川崎重工グループの技術や
取り組みを、わかりやすく
紹介するWEBメディアです。



カワサキワールド
Kawasaki Good Times World

神戸にある、
川崎重工グループの
企業ミュージアムです。



Kawasaki Robostage

東京・お台場にある
ロボットの
ショールームです。



川崎重工グループの関連情報を随時投稿しています。

LinkedIn



YouTube



以下に列挙するものは川崎重工工業株式会社またはカワサキモータース株式会社の登録商標です。

「K-RACER」、[K-RACER] ロゴ、[FORRO]、[CORLEO]、[CORLEO] ロゴ、[KCC]、[KAWARUBA]、[レックスベラ]、[Jet Ski]、
[Z-Leg]、[NINJA]、[Ninja] ロゴ、[カワサキPU]、[カワサキワールド Kawasaki Good Times World] ロゴ、[Robostage]

K-RACER **CORLEO** **Ninja** **カワサキワールド**
Kawasaki Good Times World

「hinotori」は株式会社メディカロイドの登録商標です。「BOEING」はザ ボーイング カンパニーの登録商標です。